

2008年10月23日

mail ニュース

No. 1 ・ 通巻 189 号

自治労連 都庁職

自治労連都庁職員
労働組合

発行人 米山隆史

TEL 03-5381-0250

第8回定期大会を開催

自治労連都庁職は10月22日、第8回定期大会を開催しました。大会は米山副委員長の司会で始まり、大会議長に港湾支部の斉藤代議員、多摩都税支部の町田代議員、資格審査委員に乙幡代議員（教育庁支部）、前田代議員（北一税支部）、小林代議員（共済支部）、北村代議員（北二税支部）を選出、本部からは大会書記長に長井執行委員、大会書記に内田書記があたることとなりました。

石橋執行委員長がサブプライムローン問題等に触れながら、新自由主義の破綻は明白であり、これを打ち破る運動が必要である、と挨拶しました。

来賓として、堤東京自治労連中央執行委員長が挨拶を行い、労働金庫から新宿支店長に来ていただきました。また、都労連、都庁職、東水労、さらに自治労連に加盟している6つの府県職労（神奈川、千葉、埼玉、大阪、京都、滋賀）からメッセージ、祝電をいただきました。

この一年間の体制と取り組みの経過報告を森田書記長が行い、会計決算報告については小野塚副委員長、会計監査報告を北村会計監事が行いました。

議案関係では、第1号議案の2009年度運動方針案、第2号議案の2009年度会計予算案について、小野塚副委員長が提案しました。

第3号議案の特別執行委員・顧問の選任、第4号議案の「自治労連都庁職のあり方」の検討案については、森田書記長が提案しました。

この後、質疑討論に移りました。

養育院支部の木村代議員は、9月議会で定款が決められた健康長寿医療センター問題について発言しました。

教育庁支部の伊東代議員は、超過勤務の不払い問題で闘っている坂本裁判と日比谷図書館の千代田区移管問題について発言しました。

再雇用・非常勤協議会の鳥谷代議員は、後期高齢者医療制度問題についての学習会などの取り組みについて報告しました。

経済支部の関根代議員は、今年の確定闘争の課題のうち、島嶼、現業賃金、時短などの課題で団結署名を行い、500名以上を達成したと報告しました。

多摩都税支部の大道寺代議員は、新規採用者は100%労働組合に組織化し、毎年、原水禁大会への参加、その後の「平和と文化の集い」など、まじめに頑張っている姿を見てもらおうと奮闘していると発言しました。

小野塚副委員長の答弁の後、報告事項、議案について採択されました。この大会で、石橋委員長、桑名・長井執行委員、小林会計監事が退任しました。

新役員には、森田委員長、矢吹・河野・寺崎副委員長、米山書記長、小野塚・平井執行委員、北村・有場会計監事が就任しました。